

## 残念ながら「真光寺川まつり2010」中止!

真光寺川を清流にする会  
世話人 山口拓郎

まさかこのような事態に追い込まれるとは想像もしなかった。今年は会員と相談して「真光寺川まつり」を中止することにした。子ども達に川で遊び、自然と親しんでもらいたいと2002年から7月末の土曜日に開催してきた催しである。昨年まで8回開催してきた。夏の行事として定着し参加者も年々増えてきつつあった。それだけに残念である。理由はこの春あたりから水が濁りだし子ども達に川遊びを楽しんでもらえる環境ではなくなったと判断したからである。水が濁ってきた原因はまだ正確には掴めていない。川をきれいにして来年は「まつり」を開催したいと云うのが目下の私どもの願いである。

{5月}

### ○観察概況

ゴールデンウィークは快晴が続いた。コイは産卵期を迎えたようで群れて時に荒々しく闘ぎ合う様が見えた。水は青黒く濁り大量の泡を浮かべることが多くなってきた。水底には褐色の藻が発生してきた。透視度は悪くなってきた。月央、十数匹のコイの死骸が浮かんだ。異変を感じ懸念を深める。

7日(金) 里親通信発行・一木会

雨、支所で印刷。学校に配布。夕方、魚民で一木会。話題は7月の市民大学・体験講座受け入れ準備、特にミニ水族館の魚の捕獲手段、「まつり」の準備と告知、ジャカゴの工事を南東建に要請すること等。

9日(日) 清掃作業

快晴。17名といつもより多い。和光鶴小の大野、武田先生も参加。大野先生に市民大学・体験講座での講話をお願いする。武田先生は4年担当、真光寺川研究を行うので協力してほしいとのこと。終わっていちよう会館で反省会、市民大学体験講座、「まつり」の準備等打ち合せ。

12日(水) コイ浮かぶ

隣家のAさんから連絡、真光寺川を散歩していたところコイが大量に浮かんでいたとのこと。環境保全課、南東建に連絡する。既に通報があったようで、現地に調査に行っているとのこと。こここのところ水の濁りが気になっていたが、事態は我々の想像以上に悪化しているようである。取り敢えず現場に急ぐ。

13日(木) 水サンプル回収

快晴、5時に家を出る。東の空が茜に染まっていて美しい。神明橋の下流にコイの死骸が浮かんでいる。広袴公園で野田さんに会う。昨日やはり大量のコイの死骸を見たようだ。帰宅後、環境保全課から連絡がある。昨日十数匹のコイの死骸を回収した。コイはヘルペスではない、他の生物が死んでないので特殊な毒物によるものとは思えない、暫く様子を見るとのこと。

31日(月) 鶴三小、和光鶴小へ

両校へ「町田ごみフェスタ2009」の報告書をお届けする。結構重かった。

{6月}

### ○観測概況

しただ橋の下流でジャカゴの工事が始まる。工事終了後も水は相変わらず濁っている。どす黒い濁り方である。泡が大量に流れてくるのも気にかかる。

3日(木) 環境保全課で打合せ

環境保全課に打合せをお願いする。上下水道部、公園緑地課の関係者も集まって下さる。黒田、神蔵さんと何う。状況を報告し資料を持ち寄り話し合う。乗馬クラブクレイン東京の対応も報告される。なかなか原因が把握できない。これからもお互いに協力して注意深く観測していくことになる。

6日(日) 全国身近な水環境調査

環境省主催の全国一斉調査、真光寺川で3ヵ所、CODの数値はよくない。

10日(木) 里親通信発行・一木会

14時から支所で印刷・配布。山本、黒田、野田、吉田さん。18時、魚民で一木会。山本、野田、吉田、生江さん。最近水の濁りが一向に改善されず、「まつり」を開催していいものかどうか、議論が白熱する。

11日(金) ジャカゴ工事現場で打合せ

平成橋の下流にジャカゴの設置工事が始まった。工事監督の内田さんにお願いして現場で打合せを行う。山本、黒田さん参加。かねての念願がようやく実現する。終了後山本さんと例月の水質調査に追加することになった広袴公園の水サンプル回収場所を選定するため池を一周する。

12日(土) 神蔵さん宅で懇談

神蔵さんの提案で雑談会することになる。3時に集まる。山本、黒田、五条、岩上、鈴木さん出席。神蔵さんは先祖代々この地で育った方だ。昔の真光寺川の話が色々聞かれて面白かった。何か記録に止めて置きたいものだと思う。

13日(日) 清掃作業

快晴、町田クレインライオンズクラブから10名応援に来て下さる。総勢24名で作業を進める。ライオンズの方々は鶴見川に比較し水がきたないと云っていた。終わって、いちよう会館で反省会。最近の水の濁り具合から「まつり」実施は難しいと判断され最終的に中止と決定した。



広袴公園でフェンスを越えて回収

17日(木) 水サンプル回収

晴・真夏日。家を5時に出る。夏至が近く太陽は既に空高く容赦ない日射しを浴びせている。今回から採集場所に広袴公園を加える。鍵を持ってなかったのでやむを得ずフェンスを乗り越え水際に出る。散歩していた方から大声で咎められる。事情をお話したところよく理解され、今後環境の改善に協力して下さることになった。

28日(月) 鶴三小・小泉先生から連絡

10月開催のごみフェスタで4年生・3クラスがごみ研究を発表するよう準備している旨、連絡がある。

{7月}

### ○観察概況

7月に入って水の濁りは若干改善された。透視度も格段によくなってきた。やはり特定の場所から何かが流されているのだろう。泡は相変わらず多くみられる日が多い。

8日(木) 里親通信発行・一木会

14時、支所へ。山本、黒田、野田さん。予防接種の親子連で一杯。市民大学体験講座のレジメも印刷する。夕方、魚民で一木会。山本、黒田、生江、桜井さん。10年近く毎月実施している水質調査の活用につき議論が沸騰する。

11日(日) 清掃作業、市民大学体験講座

別稿「まちだ de エコ・ツアー」参照

15日(木) 水サンプル回収

晴、5時前に家を出る。夜明けの風が快い。しただ橋で野田さんに会う。広袴公園はフェンスの鍵を開けて回収する。

20日(火) 神蔵さん宅で取材

里親通信に掲載するために真光寺川の今昔につきお話を伺う。

24日(土) 「まつり」当日、下堰につめる

「まつり」は中止したが、万一来場する方がたがいたらと思い、午前中下堰親水につめる。幸い誰も見えなかった。

26日(月) 環境保全課と打合せ

午前10時、山本、黒田さんと何う。その後の状況、今後の対策等につき打合わせる。(この項おわり)